

第1章 序章

1 はじめに

わが国の平均寿命は世界有数の水準に達しています。しかし一方では出生率の低下に伴い、急速な高齢社会を迎えています。そして、疾病全体に占めるがん、心臓病、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の割合は増加し、医療費の増大、要介護者等の増加と、健康に関する課題は深刻な社会問題となっています。

健康づくりは元来、個人が主体的に取り組む課題ですが、一人ひとりの実践と健康づくり支援のための環境整備等を計画的に推進するため、国では「健康日本21」山梨県では「健やか山梨21」が策定されました。また母子保健事業では「健やか親子21」が策定され、安心して子育てができる相談・支援体制や事故防止、思春期問題や虐待問題に取り組んでいます。

中央市では2006年2月20日、3町村が合併し、「実り豊かな生活文化都市」の基本理念のもとスタートしました。すべての市民が健康で豊かな人生が送れるために、一人ひとりができること、家族や地域社会ができること、行政が行うことを一体となって考え取り組む必要があります。誰もが住み慣れた地域で生き生きと輝くことのできる社会の実現を築くため、基本となる健康づくりの方策として「第一次中央市健康増進計画 ～みんなが輝くまち 健康あっぷ中央～」を策定することになりました。

2 計画策定の方針

(1) 計画の趣旨

本計画は健康で豊かな人生が送れるために一人ひとりの実践と地域で支え合うことのできる市を目指しています。自分のできることは、自分で責任を持ち(自助)、地域の中で健康づくりを助け合い(共助)、できないところを公が支援(公助)しながら協働によって取り組むための基本方針を定め、策定するものです。

(2) 計画の構成

健康課題について調査・分析し地域の健康問題をライフステージごと明らかにし、そしてめざす姿を描きながら具体的な施策や実施目標を設定するものとします。

(3) 計画の期間

本計画の計画期間は平成20年から24年度までの5カ年計画とします。そして健康づくり推進協議会などにおいて評価・見直しを行っていきます。

中央市 基本理念

『実り豊かな生活文化都市』

すべての市民が豊かで快適に生活できる市



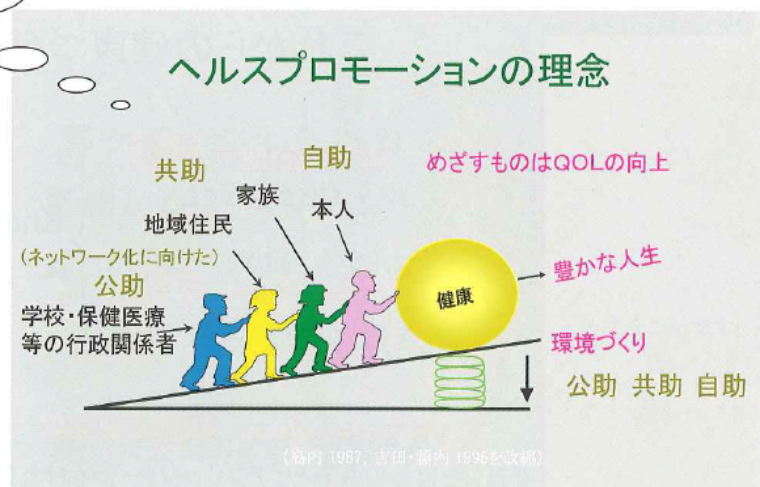
健康づくりが目標とするもの

健康で豊かな人生が送れるために一人ひとりの実践と地域で支え合うことのできる市

～ 一人ひとりの行動と、住みやすい健康的な地域づくり ～

いろいろな意味での
応援団が必要です

一人じゃ出来ない
健康づくり



今は □ □ → これからは

